ボランタリークレジット プラットフォーム クレジット発行機関等の 最新動向（2022 年 7 月）

2022 年 7 月 20 日

Verra、新しいクレジットラベルに関する協議を開始

Verra，市場からのニーズに応え新しいクレジットラベルに関する協議を開始

ボランタリークレジットの発行機関、VCS を運営する Verra は、VCS が発行するクレジット、VCU に新しいラベルを設けるために検討作業を開始した。新たに設けられることが検討されているのは二つの種類のラベルである。

一つは、クレジットに対して創出したプロジェクトの特徴を示すラベルである。Verra からの検討しているラベルで示されるプロジェクトの特徴は以下のようなものである。

1.排出削減あるいは排出量除去か

2.自然に関連する活動あるいは技術・産業に関連する活動か

3.パリ協定第 6 条の Authorization の種類（NDC の達成、CORSIA、企業の自主的な取組みへの利用）

4.SDG への貢献

これらのラベルを新たに VCU に加えることについて、Verra では、一般からのコメントを 6 月 30 日から募集を開始した。コメントの募集は、7 月 31 日に締め切り、寄せられたコメントを踏まえて、年内に最終版を作成することとされ、2023 年 6 月までには制度の本格的な運用を目指すこととなっている。

ボランタリークレジット取引市場に高品質のクレジットを供給するための様々な対策、取組みの検討作業をおこなっている Integral Council Voluntary Carbon Market(IC-VCM)でも、クレジットの性質、「追加的な属性」を示す必要性が指摘されている。IC-VCM の前身 TSVCM が 2021 年 7 月に発表した報告書では、クレジットの性質を示す「追加的な属性」として、種類（排出削減あるいは排出除去）、削減・除去の手法（自然あるいは技術・産業）、貯留の方法（生態系、地層、製品（建築材）、なし）、副次的便益（SDG への貢献など）、相当の調整等の 5 つの種類の情報を挙げており、今回、Verra が提

案している新たなラベルも、同様な内容となっている。IC-VCM の検討作業と同じ方向性で、Verra での検討作業が行われていると言えるだろう。

これとは別に、Verra は、さらに新たなラベルを設けることについて、7 月 7 日から一般からのコメントの受け付けを始めた。具体的には、現在、VCS において策定作業を行なっている新しい方法論、新規植林・再植林・再植生方法論を適用したプロジェクトに、新しく ABACUS ラベルを設けることである。ただし、これは、事前協議とされ、今回のコメントを踏まえて、新たなラベル ABACUS を設けるための作業を開始するかどうか、2023 年 1 月までに Verra が決定することになっている。そのため、果たして新しいラベルが設けられるかどうか、現時点では不確実な部分が残る。

ABACUS は、主に植林を中心とした除去に関連する活動に由来するクレジットのラベルとなることが想定されているが、除去に由来するクレジットについては、市場からも関心が高い。一部のクレジット発行機関では、すでに除去由来のクレジットを明示する方針を示している。クレジットにラベルを付すことでより容易に他の種類のクレジットと区別することで、除去由来のクレジットの取引を広げ、プロジェクト開発の促進を狙ったもの考えられる。Verra も同様の狙いを持って、クレジットへの新しいラベルを設けることを検討していると考えられるが、このような動きが他のクレジット発行機関にも広がれば、除去由来のクレジットの取引にも影響を及ぼしてくるかも知れない。

7 月のボランタリークレジット発行機関などの動向

国名/団体名	ニュースヘッドライン	出所	日付
国際	暗号通貨会社がクレジットのトークン化に関する Verra の協議の遅れを非難	Carbon Pulse	2022/6/23
ニュージーランド	NZ 企業が国内 ETS 制度で適格とみなされない原生林からのクレジット創出を対象とした自主的クレジットの発行を開始	CarbonCorpMedia Release	2022/6/28 2022/7/4
国際	Verra、IC-VCM の原則に先立ってオフセットラベルに関する協議を開始	Verra	2022/6/30
国際	Verra、高品質な自然除去クレジットに対する新しいラベルを提案	Verra	2022/7/7
米国	米国下院議員、クレジットのトークン化を再開するよう Verra、ACR に公開書簡を提出	Carbon Pulse	2022/7/7
国際	世界銀行、炭素市場の情報を統一するプラットフォーム構築へ	Carbon Pulse	2022/7/7

（文責）小松　潔（日本エネルギー経済研究所）

（情報収集）　森本壮一（日本エネルギー経済研究所）